

北アジアにおける匈奴の世界 ーモンゴル、ノイン・ウラ遺跡の最新発掘成果よりー

日 時：2015年4月11日（土）13：30～16：00

会 場：愛媛大学メディアホール

ノイン・ウラ（ノヨン・オール）遺跡は、匈奴と漢の関係を物語るものとして日本でも馴染み深いモンゴルの遺跡です。近年、ロシア・モンゴル共同調査隊により、新たな墓が発掘され、多くの発見がありました。今回は、その成果をもとに、古代ユーラシアを駆けぬけた匈奴の世界に接近したいと思います。

《 講 演 》

匈奴の世界

ーノヨン・オールの最新の発掘成果よりー

ナタリア・ポロシマク

（ロシア科学アカデミーシベリア支部・考古学民族学研究所）

匈奴と戦った漢民族

ーモンゴル、バヤン・ブラグ遺跡の発掘成果よりー

村上恭通（東アジア古代鉄文化研究センター）



申込不要・入場無料

日本語通訳あり



主催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

Tel/Fax: 089-927-8391 Email: kotetsuA10@gmail.com